（様式１－１）

学校番号	中学　1	学校名	茨城県立日立第一高等学校附属中学校

令和６年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領　など

校訓

高い志　科学する力　未来を拓く力
一、誠実勤勉なれ　　一、剛健質実なれ　　一、規律礼儀を正しくせよ
一、自治独立につとめよ　　一、和衷協同せよ

学校の教育目標

豊かな人間性と高い知性を有し、日本そして世界の未来を拓く次代のリーダーを育成する。

生徒の実態

・知的好奇心が高く、何事にも真面目に取り組む。
・自分の目標の実現に向け努力しようとする態度が身に付いている。

保護者の願い

・国際化、情報化などの社会の変化への対応
・生涯学習の推進

道徳教育重点目標

人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
・自己を見つめる。
・広い視野から多面的・多角的に考える。
・人間としての生き方についての考えを深める。

地域の実態

・保護者の学校教育への関心が高い。

各教科・科目

国語	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高める。思考力や想像力を養う。言語感覚を豊かにする。
社会	グローバル化する国際社会で主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。
数学	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を高める。
理科	自然と人間との関わりを認識させる。科学的に探究する力を育て、科学的に探究しようとする態度を養う。
音楽	音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育む。音楽による豊かな情操を養う。
美術	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
保健体育	粘り強くやり遂げる、ルールを守る、集団に参加し協力する、一人一人の違いを大切にする態度を養う。健康・安全についての理解を深める。
技術家庭	生活を工夫し創造する資質・能力を身に付ける。進んで生活を工夫し創造しようとする資質・能力を育てる。
外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深める。聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮する力を養う。

各学年ごとの指導の重点

１年
・衝動的になりやすい自分自身の在りように目を向け、自立できるよう、望ましい生活習慣を身に付ける。
・他の人の立場を尊重しながら思いやりの心をもって接する。
・自分の所属する集団の在り方を十分理解し、自己の役割と責任を自覚するとともに協力し合って集団生活の向上に努める。

２年
・自らを振り返って正すべきところは正しつつ、絶えず自己を高めようとする。
・ともに語り、悩み、共感し、そして励まし合い高め合うことのできる友情を育てる。
・不正を憎み、不正な言動を断固として否定することにより、差別や偏見のないよりよい社会の実現に尽くすように努める。

３年
・絶えず理想を求め、目標をもって着実に努力する。
・異性に対する理解を深め、信頼と敬愛の念を育み、互いに向上していこうとする。
・世界の中の日本人としての自覚をもち、外国の人々や異文化に対する理解と尊敬の念を重視し、世界の平和と人類の幸福に貢献するように努める。

特別活動

集団生活を通して集団の一員としての自覚を高め、自主的実践的な活動を通して、人間としての生き方の自覚を深める。

総合的な学習の時間

問題を主体的に解決する力、情報収集や発表、討論する力を身に付けたり定着させていく。（ｻｲｴﾝｽﾘﾃﾗｼｰ）

自分自身を見つめ、互いに認め合い、高め合うとともに、自分なりの価値観を育めるよう援助する。（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）

道徳の時間の指導方針

・全体で行う道徳教育を補充、深化、統合する「かなめ」の時間とする。
・道徳的価値及び人間としての生き方について自覚を深める。
・生徒一人一人の道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力を高め、道徳的実践意欲と態度の向上を目指す。
・体験的な活動と密接に関連させ指導する。
・ティームティーチングや役割演技、写真・ＶＴＲの使用保護者や地域の人材の活用など創意工夫ある指導をする。
・『道徳ポートフォリオ』を補助的な教材として活用する。

生徒指導

共感的な人間関係の育成を図るとともに、生徒一人一人が目標をもって将来を展望し、自己実現が図れるよう援助する。

特色ある教育活動や体験活動

道徳的実践を促したり、育成したりするための豊かな体験の場の充実に努める。
・各授業
・学級活動
・部活動
・様々な学校行事
・ＳＳＨ事業との関連

学級・学校の環境の充実・整備

道徳教育を効果的に進め、人間としての生き方についての自覚を深めるための、環境づくりに努める。

・人間関係の充実
・校舎、校庭や教室の整備
・言語環境の改善

家庭・地域社会などとの連携

家庭や社会との交流を密にし、協力体制を整える。
・保護者や地域の人材を授業に活用
・学校・授業公開の実施
・学校、学年、学級だより
・ＰＴＡ活動
・ボランティアなどの体験活動